

各 位

南庄内在宅医療を考える会

世話人:石橋 学、三原一郎、中村秀幸、佐久間正幸、土田兼史

## 本年度第2回「南庄内在宅医療を考える会」のご案内

今回は

### 「日本海総合病院との連携 スムーズな在宅移行をめざして」

語り合う会を企画しました。

最近は入院治療や精密検査のため日本海総合病院(以下日本海病院)への紹介状を希望する患者さんが多くなってきました。それに伴い日本海病院から在宅療養の目的で紹介される方も増えてきています。みなさんは、住み慣れた鶴岡の自宅や施設へ戻ってくる患者さん・家族を在宅療養のなかで支える場合、困難を感じたことはないでしょうか？

がんの末期で、自分だけでは支える自信がない、情報提供書は届いたが、自分がいま必要な情報や今後の情報入手の方法がわからない、入院中の主治医や緩和ケアチームあるいは連携室のスタッフとのやりとりがしたい、医院から往診先が遠い、訪問看護の導入に際して入院中の処置内容や ADL、療養上の注意点などに関する情報が乏しいなどの経験は如何でしょうか。

世話人の一人である中村氏の場合、当初、がんの末期の在宅の看取り目的での診療情報提供がいきなり FAX で届き、戸惑った経験があります。荘内病院の緩和ケアチームとの連携やバツアップがあったらいいのに、とか、初診の患者さんであることへの不安、退院カンファレンスを行いたいがその時間の確保や距離の問題、病院の主治医や担当のスタッフの顔が見えない不安、などがありました。

がんの末期に限らず、日本海病院からの在宅医療への移行をスムーズに行えているのか、困難感はないのか、あるとすれば何か。それをみんなで解決して仕組みを作っていくことが、鶴岡が安心して自宅で療養できる地域に近づくことにつながると思います。

そこで、「南庄内在宅医療を考える会」では、鶴岡地区の在宅医と訪問看護ステーションの代表者が集まって、ざっくばらんに日本海病院との連携のあり方を語りあう会を企画しました。この会で話し合われた内容は、その後に開催される予定の病院との話し合いを有効かつ円滑に進めるための基礎となるものです。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

**日 時 : 平成 30 年 10 月 4 日(木) 19:00~20:30**

**会 場 : 鶴岡地区医師会館 講堂**

事務局:鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたる

TEL:29-3021 FAX:29-3022

**※準備の都合上、参加申し込みは9月27日(木)まで、集配またはFAXでお願いいたします。**

〆切:9月27日(木)

地域医療連携室 ほたる 行き (FAX:29-3022)

H30年度第2回 南庄内在宅医療を考える会(10/4)参加申込書

医療機関名 \_\_\_\_\_

	氏 名	職 種
1		
2		
3		